

マスコミ各位

平成30年3月23日（金）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2215

麻しん(はしか)患者の発生について(注意喚起)

1 報道関係者の方へ

この度、本県では平成26年以来となる麻しん患者が報告されました。

当該患者は、3月17日に台湾より来県し、3月19日まで沖縄本島内を移動しております。当該患者と接触した（同一空間を共有した）方は、麻しんに感染する可能性がありますので、各医療機関および県民へ注意喚起のため情報提供を行います。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされております。現時点において当該患者が利用した施設等を利用されても、当該患者を原因とする麻しんウイルスに感染することはありません。

また、感染症法の趣旨に則り、患者やその家族・関係者について、本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

2 患者の情報

台湾在住、30代、男性。

【経過】

3/14（水）発熱。

3/17（土）台北より、タイガーエアー230便で、沖縄県へ移動。

モノレールを利用し、那覇市内観光等。

那覇市内ホテルで宿泊。

3/18（日）モノレールを利用し、レンタカー店へ移動。

レンタカーを利用し、糸満市及び北谷町内を観光等。

うるま市内ホテルで宿泊。

3/19（月）レンタカーを利用し、今帰仁村、名護市内及びうるま市内を観光等。

発疹出現。夜間に自ら中部保健所管内医療機関を受診し、入院。

3/20（火）当該医療機関から中部保健所へ、麻しん及び風しん疑い患者報告。

中部保健所から衛生環境研究所へ検査依頼し、検査の結果、麻しん遺伝子陽性（風しんは陰性）。

3/22（木）衛生環境研究所が遺伝子解析を実施した結果、遺伝子型D8と判定。

患者は当該医療機関を退院。中部保健所管内施設へ移動し、保健所の健康観察下で療養中。

3 県民の皆様へのお願い

麻疹は、感染力が非常に強く、小児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすことがある感染症です。

麻疹患者と接触した場合は、接触後 7～21 日間の健康観察が必要となります。そのため、3月24日～4月9日に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に「麻疹かもしれない」ことを連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。

4 麻疹（はしか）について

原因：麻疹ウイルス

潜伏期間：10～12日

主な症状：感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以下）

感染症法：五類感染症

予防：予防接種が有効

麻疹に感染しないためには、予防接種が重要です。

麻疹の定期予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は、早めに予防接種（MRワクチン）を受けましょう。

特に、4月から小学校に入学されるお子さん（第2期該当）で、予防接種がまだの方は、今月中に受けましょう。

また、定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MRワクチンを受けましょう。

- 母子手帳などで麻疹ワクチンを2回以上受けた記録がある
- 過去に麻疹に罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）